

## 平成28年度試行調査 概要

### ○目的:

高等学校基礎学力テスト(仮称)に係る実証的・専門的検討に資する実証的データを蓄積するため、民間事業者等に委託して具体的な問題の作成を行うとともに、基礎学力の定着に取り組む実践研究校等の協力を得て試行的に調査を実施。

### ○実施期間:

平成29年1月16日(月)～3月8日(水)の間(各対象校と実施運営受託事業者にて調整)

### ○実施対象:

平成28年度「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」受託教育委員会が指定した実践研究校(10道府県12校/約5,000人)

### ○受託事業者:

#### <問題作成>

国語:株式会社内田洋行、株式会社ベネッセコーポレーション

数学:株式会社内田洋行、株式会社ベネッセコーポレーション、(公財)日本数学検定協会

英語:株式会社ベネッセコーポレーション、ケンブリッジ大学英語検定機構、(公財)日本英語検定機構

#### <実施運営>

株式会社内田洋行

### ○成績(結果)提供

- ・生徒ごとの正答状況及び素点を実践研究校・教育委員会に提供(平成29年3月)
- ・結果の詳細な分析やアンケート調査等とのクロス集計分析は平成29年度に行い、その結果を実践研究校・教育委員会に提供する予定。

### ○試行調査の結果

学校における試験実施については概ね滞りなく終了。CBTでは、ネット環境の影響と考えられるエラー等が一部発生したが、概ね滞りなく終了。なお、実施校等から以下のコメントがあった。

- ・テストの難易度については、2段階のいずれかを学校が選んで受検したところ、一部の学校から、更に多段階の設定が必要との意見があった。
- ・CBTについては、生徒が興味を持って取組み、将来手軽に複数回受検することができることに期待を寄せる一方で、現状ではPC環境の整備(台数、回線等)等の課題を挙げる学校があった。
- ・英語のスピーキングテストについては、多くの学校において必要性を感じている一方で、実施のための環境(準備・実施・評価のための体制等)に課題を挙げる学校も多かった。また、実施方法については、対面式よりもPCを用いた録音方式を希望する学校が多かった。
- ・受託事業者(実施運営)からは、一定のルールを定めた上で民間事業者等が問題を作成し、実施する体制は十分考え得るとの意見があった。

## ○実施概要

### 1. 本体調査

実施対象	実施方式	内容	
実践研究校(12校)の生徒約5,000人(主に1,2年生)	対象校のICT環境の状況に応じて、以下の方式から選んで実施  ①CBT(オンライン方式) ②CBT(USBメモリ方式) ③CBT及びPBT併用	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校国語科「国語総合」の内容を上限とし、義務教育段階の内容を含めて出題。</li> <li>・試験実施時間は50分。</li> <li>・基礎的な知識・技能を問う問題を中心とし、思考力・判断力・表現力等も問う問題を出題。</li> <li>・解答方式は選択式を基本とし、一部、記述式の問題を出題。</li> </ul>
		数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校数学科「数学Ⅰ」の内容を上限とし、義務教育段階の内容を含めて出題。</li> <li>・試験実施時間は50分。</li> <li>・基礎的な知識・技能を問う問題を中心とし、思考力・判断力・表現力等も問う問題を出題。</li> <li>・解答方式は選択式を基本とし、一部、記述式の問題を出題。</li> </ul>
		英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校外国語科「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容を上限とし、義務教育段階の内容を含め、4技能を測定する問題構成とする。</li> <li>・試験実施時間は「読むこと」「話すこと」「書くこと」の3技能について50分。</li> <li>・「話すこと」については、教員との対面方式により、学校ごとに1学級程度を対象として実施。</li> <li>・解答方式は選択式を基本とし、「書くこと」に関しては記述式。</li> </ul>

※本体調査の各教科・科目の問題は、高等学校段階の内容を中心とした問題セット(標準レベル)と義務教育段階の内容を半数程度盛り込んだ問題セット(基本レベル)の2段階を設定。

### 2. アンケート調査

実施対象	実施方式	内容
実践研究校(12校)の生徒約5,000人(主に1,2年生)	紙	・学校内外での学習状況、生活の諸側面等のアンケート調査
実践研究校(12校)の管理職等	紙	・生徒の状況、学校での授業・補習等の指導状況、PDCAサイクルの具体的な取組状況等のアンケート調査

### 3. 共通技能としての読解力調査

実施対象	実施方式	内容
実践研究校(12校)の生徒約4,000人(1,2年生の一部学級)	対象校のICT環境の状況に応じて、①CBT(オンライン方式)、②PBTのいずれかの方式から選んで実施	・国立情報学研究所の協力を得て、共通技能としての読解力に関する状況調査(リーディングスキルテスト)及び同テストに付随するアンケート調査を実施。

## 調査の全体像

○ 標記試行調査では「本体調査」「アンケート調査」「共通技能としての読解力調査」からなる**3つの調査を一体的に実施**することを旨とする。

### (1) 本体調査

#### (対象者)

- ・ 実践研究校12校／**5,000人(1、2年生)**を対象

#### (実施時期)

- ・ **29年1～3月**のうち、**学校と試行調査受託事業者が調整した日時**で実施

#### (実施方法)

- ・ 実践研究校のICT環境の状況に応じて以下の方式から選んで実施
  - ① CBT(オンライン方式)
  - ② CBT(外部媒体方式)
  - ③ **CBT及びPBET併用**

#### (実施内容)

- ・ 国語、数学、英語の**3教科**、うち英語は**4技能測定**（「話す」は別日程で学校実施）
  - ・ 1教科当たり**50分程度**、**2段階のレベル**から選択
- #### (その他)
- ・ 国、数、英の記述式は、最低1問以上実施（CBT上での実施/採点も可能な限り検証）

※ 平成29年度に3つの調査間でのクロス集計分析を実施

### (2) 生徒／学校へのアンケート調査

- (生徒) 学校内外での**学習状況/生活習慣等**のアンケート調査
- (学校) **生徒の状況**、学校での**授業・補習等の指導状況**、**PD CAサイクルの具体的な取組状況**等のアンケート調査

※ 両者に対し、調査(1)及び(3)の感想・意見等も調査

### (3) 共通技能としての読解力調査

- ・ **国立情報学研究所(NII)**と連携して、本調査を実施
- ・ 上記調査(1)の正答状況と、本調査の正答状況とを比較検証することで、**試験問題の指示や意図を正確に理解できているかどうか**などを分析し、その後の学校の指導の工夫・充実に活用

# 平成28年度高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための研究開発事業 実践研究校一覧

整理 番号	委託団体	実践研究校	学 科	生徒数				学級数			
				1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
1	北海道教育委員会	札幌英藍高等学校	普通科	320	316	315	951	8	8	8	24
2	山形県教育委員会	庄内総合高等学校	総合学科	96	72	101	269	3	2	3	8
3	石川県教育委員会	松任高等学校	普通科・総合学科	185	175	185	545	5	5	5	15
4	静岡県教育委員会	熱海高等学校	普通科	109	72	105	286	3	3	3	9
5	滋賀県教育委員会	玉川高等学校	普通科	321	315	355	991	8	8	9	25
6	大阪府教育委員会	大阪府教育センター附属高等学校	普通科	281	278	273	832	8	7	7	22
7	兵庫県教育委員会	柏原高等学校	普通科	279	270	234	783	7	7	6	20
		姫路南高等学校	普通科	240	239	238	717	6	6	6	18
8	鳥根県教育委員会	出雲農林高校	専門学科(植物科学科、環境科学科、食品科学科、動物科学科)	160	161	126	447	4	4	4	12
9	岡山県教育委員会	林野高等学校	普通科	135	134	118	387	4	4	4	12
		岡山工業高等学校	専門学科(機械科、土木科、化学工学科、デザイン科、建築科、情報技術科、電気科)	322	319	313	954	8	8	8	24
10	福岡県教育委員会	朝倉東高等学校	普通科・専門学科(総合ビジネス、ビジネス情報科)	200	197	192	589	5	5	5	15
合計		12校		2,648	2,548	2,555	7,751	69	67	68	204

## 【設問（3）：記述式】

- テキストの内容や解釈を解答する問題（テキストの全体の把握、精査・解釈）
- ・ 相手の意見を的確に把握し、情報と照らし合わせて、適切な意見を述べることができるかどうかをみる。
  - ・ 授業における言語活動場面を念頭に題材を設定。

## 修学旅行のしおり

平成 29 年度 中央高校二年生 修学旅行

期間 10 月 15 日～10 月 18 日

日程 15 日：朝日市内に到着。朝日市内で宿泊。  
 16 日：朝日市内の観光（自由行動あり）  
 17 日：朝日市から氷川市へ移動。氷川市内で宿泊。  
 18 日：氷川市内の観光。

修学旅行について 学年主任 島田恒男

これまでの卒業生に「学校生活の思い出は？」と尋ねると、ほとんどの生徒が修学旅行だと答えます。修学旅行はそれほど、皆さんにとって重要な行事なのです。

では、修学旅行に行く意義は一体何でしょうか。

まず、学校の外にでてさまざまな文化施設や歴史ある街並み、豊かな自然などに触れることによって、皆さんの見聞を広めることができます。

また、公共の乗り物などを利用することで社会的なマナーを学習するという意味合いもあります。同じ学校の友人とも、寝食をともにするのですから、普段とは違う気遣いやマナーが必要になります。

このように、修学旅行では、学校では学ぶことのできない大きな経験をすることができるはずです。4 日間の修学旅行を終えたとき、皆さんがどのように成長しているか、教員一同も楽しみにしています。

規律ある行動を心掛け、元気に、無事に、たくさんのことを学んできてください。

安全で楽しい旅になることを祈っています。

【修学旅行のしおりの一部】

高校生の田中さんたちは、学校の修学旅行に行くことになりました。次の文章は配布された【修学旅行のしおりの一部】です。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

注意事項

1. 準備について

- ①持ち物リストを確認し、一週間前には必要なものがそろうようにすること。
- ②自分の持ち物には名前を書くこと。
- ③前日は早めに就寝し、体調管理を心掛けること。
- ④服装は私服でよい。ただし華美なものは避けること。

2. 移動中の行動について

- ①公共の乗り物では公共のマナーを守ること。
- ②すべての行程で出発時間が決められているので必ず集合時間の5分前に到着すること。
- ③集合場所では、班長が班員の人数を確認して担任に報告すること。
- ④学年全体で移動する際の電車やバス内では、事前に決めた席に座ること。

3. 宿泊先について

- ①宿泊先の名称と連絡先を保護者に必ず伝えること。
- ②他の宿泊客の迷惑となる行動をしないこと。
- ③1泊目と2泊目は同じホテルに宿泊するため、2日目の日中に清掃が入る。各自の荷物は部屋に置いたままでよいが、整理整頓を心掛け貴重品は持ち歩くこと。
- ④2泊目と3泊目は、次の日に移動があるため就寝前に荷物をまとめておくこと。

4. 旅行の心得

- ①4日間あることを意識し、無理をしないこと。
- ②団体行動であることを意識し、勝手な行動はしないこと。
- ③学校内よりも危険が多いことを意識し、安全な行動を心掛けること。

持ち物リスト

※リュックまたはキャリーバック1つに収まるようにする。他には、身の回りのものをいれる小さいカバンのみ持ってきてよい(バスに乗りきらないため、2つ以上の大きな荷物を持ってきてはいけない)。

- ・旅のしおり
- ・おこづかい(1万円以内)
- ・歯ブラシやヘアブラシなど、身だしなみを整える道具(ホテルには置いていない)
- ・3泊4日分の服装
- ・筆記用具

(以下省略)

【国語・問題例】

- (1) **修学旅行**についての文章で最も伝えたいことはどのようなことですか。次のア～エの中から一つ選びなさい。
- ア 修学旅行は学校の友人と寝食をともにし、クラスの一体感を高めるものである。
  - イ 修学旅行に行く意義は、見聞を広めたりマナーを学んだりすることである。
  - ウ 修学旅行に行った今までの生徒は、行く前に比べ大きく成長することができた。
  - エ 修学旅行で規律が求められるのは、安全に過ごすためである。

【正答】(1) イ

- (2) この修学旅行の中で、生徒が独自に考えて判断しなければならないことがらを、次のア～オの中からすべて選びなさい。
- ア 華美でない私服とはどのようなものか。
  - イ おこづかいはいくらまで持ってきてよいか。
  - ウ 集合場所では班長はどのように班員を確認するか。
  - エ 貴重品を宿泊先で保管してもらってもよいか。
  - オ キャリーバックは2つ持っていてもよいか。

【正答】(2) ア、ウ

【修学旅行のしおり 自由行動について】

自由行動について

日程：10月17日 13時～16時  
解散場所：朝日駅前広場 / 集合場所：朝日駅前広場（時間厳守）  
※必ずグループ全員で行動すること

（以下省略）

【観光場所の一覧】

朝日市 観光場所一覧

---

**A 朝日城公園**  
アクセス：朝日駅から2番バスに乗り、「朝日城前」で下車（乗車時間45分程度）。  
・朝日城跡を囲む日本庭園。借りた着物を着て庭園を散策することができる（着付け所要時間15分）。オリジナルの朝日城グッズも販売中。  
・城門前で毎日2回行われる剣舞ショーが人気。（11:00～、14:00～）

---

**B 朝日まちなか市場**  
アクセス：市場入り口は朝日駅から徒歩3分。  
・懐かしい店構えの商店が並ぶ、県下最大の商店街。地域の特産品を販売する店が多く並び、観光客がお土産を買う場所としても人気。食べ歩きもおすすめ。

---

**C 朝日工芸資料館**  
アクセス：朝日駅から3番バスに乗り、「ミュージアム前」で下車（乗車時間10分程度）  
・朝日市をはじめ、近郊の伝統工芸に関する資料館。見学だけでなく、お土産の購入や工芸品の製作体験もできる。  
・陶芸（90分、3000円）、和紙づくり（90分、1000円）など。

---

**D もみじどおり**  
アクセス：通りの入り口は朝日駅から徒歩10分。  
・かつての武家屋敷が並ぶ情緒あふれる通り。10月中旬～11月下旬にかけて紅葉が見ごろを迎える。厳かな屋敷と紅葉のベストマッチが人気を呼ぶ、秋におすすめのスポット。

修学旅行の二日目に、班ごとに自由行動をすることになっていきます。次の資料は【修学旅行のしおり 自由行動について】と、【観光場所の一覧】です。また、これらの資料を見て修学旅行に参加する田中さんの班は【話し合い】をしています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。



【話し合い】

井上さん…せっかく朝日市に行くからには、そこでしか見られないものを見に行きたいね。五分前に集合しないと行けないから、移動にかかる時間のことも考えて、時間内に収まるような行き先を決めよう。

田中さん…見学するような所もいいけど、その土地ならではの体験ができるようなプランもいいと思うな。

井上さん…体験にもいろいろなものがあるんだね。私はせっかくだから、少し遠出をしてもいいかなと思ってる。その土地のバスや電車に乗るのも楽しいよね。

吉村さん…私はこの自由時間の間に、お土産も手に入れたいよ。朝日市にしかないものが欲しいな。

(3) 【話し合い】で出た全員の希望を叶えようとすると、どの場所に行くのが最も良いと思いますか。場所をA～Dの中から一つ選び、〈条件〉に従ってその理由を記述しなさい。

〈条件〉



- ① A～Dのうち、選んだ場所の記号を〈記号欄〉に書くこと。
- ② 【観光場所の一覧】の情報をもとに、選んだ理由を書くこと。
- ③ 六十字以上、八十字以内で書くこと。

【正答例】(3) C

体験と見学の両方が可能であり、「バスに乗る」「お土産を買う」「移動時間もふくめて3時間以内」という全ての条件を満たすのはCの朝日工芸資料館のみだから。(七十五字)

日常的な事象を数式（一次不等式）で表わして解釈し、その結果を数学的に表現することができるかを見る。

なつみさんの家では冷蔵庫を買い替えることになり、次の 2 つの商品 P, Q のどちらかにすることに決めた。

 <p><b>商品 P</b>            配送・設置料 → 無料            毎月の電気代 → 590 円  <b>定価</b> 188,000 円(税込)</p>	 <p><b>商品 Q</b>            配送・設置料 → 1 万円            毎月の電気代 → 740 円  <b>定価</b> 157,000 円(税込)</p>
--	--

どちらの商品を買うかについて、なつみさんとお母さんは次のように話した。

なつみさん「商品 P の方が商品 Q よりも定価は高いけど、10 年以上使うなら毎月の電気代も安いし、商品 P の方が得だね。」

お母さん「でも、ちょうど 10 年たって買い替えるなら、商品 Q の方が得だと思うよ。」

このとき、なつみさんとお母さんの言っていることはどちらが正しいか。その理由を数式や言葉を使って説明せよ。

【正答例 1】

商品 P の方が商品 Q よりも得だとすると、商品 P, Q をそれぞれ  $x$  か月使うと、商品 P は  $188000 + 590x$ 、商品 Q は  $167000 + 740x$  と表すことができる。

このとき、商品 P, Q の値段の大小関係は

$$188000 + 590x < 167000 + 740x$$

$$-150x < -21000$$

$$x > 140$$

よって、商品 P の方が得であるのは 141 か月以上、つまり 11 年 9 か月以上使う場合であるから、お母さんが言っていることが正しいといえる。

【正答例 2】

買ってちょうど 10 年後までにかかる金額は、商品 P, 商品 Q それぞれ次のように表すことができる。

$$590 \times 12 \times 10 + 188000 = 258800 \quad , \quad 10000 + 740 \times 12 \times 10 + 157000 = 255800$$

よって、ちょうど 10 年後までにかかる費用は商品 Q の方が安い。

したがって、お母さんが言っていることが正しいといえる。

変化する数量の特徴を的確に捉え、数学的に表現すること、数学的な結果を事象に即して解釈することができるかをみる。

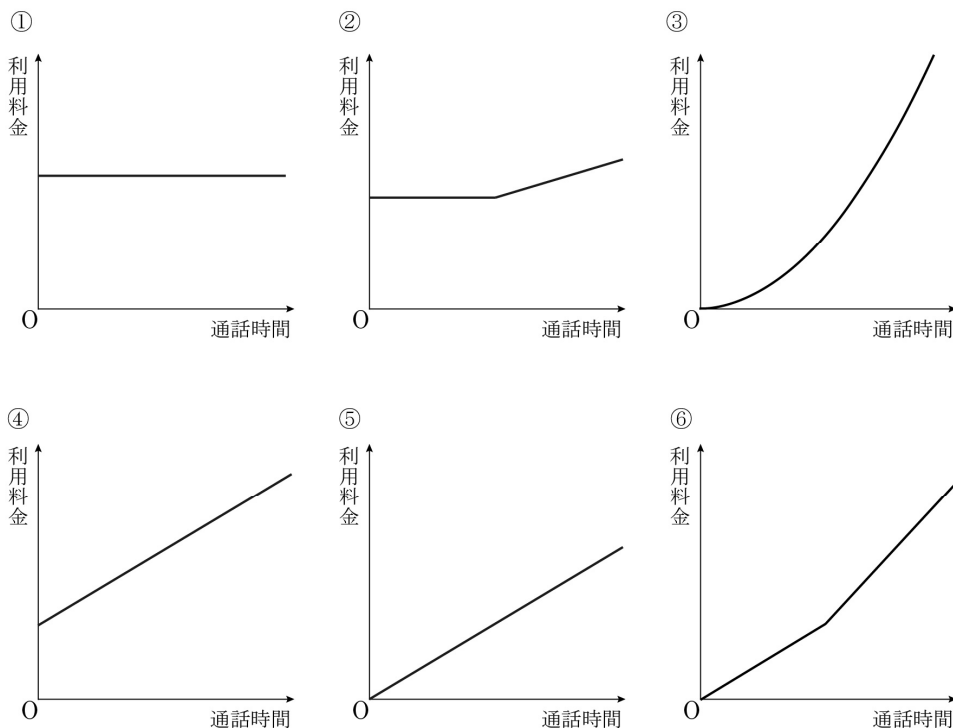
朝子さんは高校を卒業し会社に就職したので、スマートフォンを使い始めることにした。そこで、ある携帯電話会社の3つのプランA, B, Cの利用料金を調べてみたところ、次のようであった。



【朝子さんが調べたこと】

- ・プランAは通話時間に関係なく月額4200円である。
- ・プランBは基本料金が月額2700円で、1分あたり40円の通話料金がかかる。
- ・プランCは基本料金が月額3500円で、毎月はじめの60分まで通話料金は無料、それを超えると1分あたり20円の通話料金がかかる。

〔1〕 次のグラフは、利用料金に関するグラフの概形で、横軸が通話時間、縦軸が利用料金を表している。プランA, B, Cの利用料金のグラフの概形として正しいものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ1つ選べ。



【正答】 A ①, B ④, C ②

〔2〕 スマートフォンで毎月80分通話するとき、利用料金をもっとも安いプランは、A, B, Cのどれか。次の①～④のうちから正しいものを1つ選べ。

- ① プランA ② プランB ③ プランC ④ どれが安いか決まらない。

【正答】 ③

【英語4技能共通】

○平成 28 年度試行調査においては、平均的な学力層や学力面で課題のある層における学習成果・課題を把握できるように、また、学習意欲を高めることを念頭に、学習指導要領を踏まえつつ、CEFRの A1～A2のレベルを目安とする。

「話すこと」問題例

以下の構成で質疑を行う

- Part A 質疑応答問題(試験官からの問いかけを聞いて適切に述べる)
- Part B 音読問題(基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音する)
- Part C 応答問題(読んだことに基づき、適切に述べる)
- Part D 意見陳述問題(与えられたテーマに関する自分の考えを的確に伝える)

スクリプト

これから話すことの試験を始めます。以降は英語による指示にしたがって解答してください。英語の指示はすべて 1 回のみ流れます。

(ポーズ 2 秒: Pause 2 seconds)

**Part A**

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

I'm going to ask you two questions about yourself. Please answer Questions No. 1 and No. 2 in English.

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

Question No. 1 : How do you usually spend your weekends?

(ポーズ 10 秒: Pause 10 seconds)

Question No. 2 : Which do you like better, summer or winter? Also tell me why.

(ポーズ 10 秒: Pause 10 seconds)

**Part B** 音読用パッセージを手渡します

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

Please read the passage silently for 30 seconds.

(ポーズ 30 秒: Pause 30 seconds)

Now, please read it aloud.

(ポーズ 45 秒: Pause 45 seconds)

**Part C** 音読用パッセージを見ながら解答させます

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

Now, I'm going to ask you two questions about the passage. Please answer Questions No. 1 and No. 2 in English.

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

Question No. 1 : What kind of volunteer activity related to children's books is popular?

(ポーズ 10 秒: Pause 10 seconds)

Question No. 2 : What can famous legends and myths introduce children to?

(ポーズ 10 秒: Pause 10 seconds)

**Part D** 設問文を手渡します

(ポーズ 1 秒: Pause 1 second)

Some people think students in Japan should do much more housework. Do you agree or disagree with this idea? Give one or more reasons to support your opinion.

You will have one minute to prepare.

Then, you will have one minute to speak.

(ポーズ 60 秒: Pause 60 seconds)

Now, please begin.

(ポーズ 60 秒: Pause 60 seconds)

This is the end of the Speaking Test.

(受検者に渡すカード：1種目)

Part B

Did you love reading children's books when you were a child? Children's books can teach us life lessons as well as create worlds of imagination for us. A very popular volunteer activity is to read them to children at the library. It gives children the chance to hear stories from all over the world. Sharing famous legends and myths can also be a good way to introduce children to other cultures and ideas. What stories do you remember from your childhood?

(受検者に渡すカード：2種目)

Part D

Some people think students in Japan should do much more housework. Do you agree or disagree with this idea? Give one or more reasons to support your opinion.

(解答例)

<b>Part A</b>	<p><b>Question No. 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I (usually) read books / hang out with friends / watch TV.</li> </ul> <p><b>Question No. 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I like summer better because I love to go swimming.</li> <li>• I like winter better because it's fun to snowboard in the winter season.</li> </ul>
<b>Part C</b>	<p><b>Question No. 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Reading children's books to children at the library (is popular).</li> </ul> <p><b>Question No. 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• They can introduce children to other cultures and ideas.</li> </ul>
<b>Part D</b>	<p>(affirmative answer)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I agree that Japanese students should do more housework. Doing more housework can help students prepare for their adult life.</li> </ul> <p>(negative answer)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I disagree with that idea. A student's job is to study and do well on tests. They don't have any time to do more housework.</li> </ul>

## 「書くこと」問題例

短いインプット・テキストにより、記述によるレスポンス(本問題ではメモの作成)を促す問題。  
受検者にコミュニケーションに必要な3つのポイント(依頼表現、依頼の内容の伝達、場所の表現など)を示し、それに基づく記述を誘導する。

Rebecca, an English friend, is staying with you. You would like her to do some food shopping while you are out.

Write a note to Rebecca. In your note, you should

- ask Rebecca to go shopping
- say what food she should buy
- tell her where the supermarket is.

Write **at least 35 words**.

## &lt;解答例&gt;

Hi Rebecca,

Sorry, I have to go out this afternoon. Could you go to the supermarket?

I'd like to cook curry today, so please buy some rice, onions and chicken.  
I will give you the money later.

The best supermarket is the one opposite my house. It's called 'Fresh'.

See you later,

Clare

(54 words)